

地球環境子ども村だより

No.52

令和3年8月6日(金) 発行



新体制で出発して4ヶ月、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言から、蔓延防止に移行、学校は現在夏休みに入りました。子ども村の事業は、参加者の定員を削減し、受付時の検温、アルコール消毒を徹底し、マスク着用をお願いして実施しています。

ワクチン接種が進んできましたが、罹患者は再び上昇に転じています。医療従事者の方も大変お疲れと存じますが、あと少し頑張ってくださいと思います。私たちも、予防に心がけ、コロナの流行が早く収束するよう努力しましょう！(=^・^=)

◎これまでの行事報告 (4月～6月)

亀岡生き物大学 特別講座
「タンポポ教室」



4月17日(土) 午前10時～正午 参加者：16名

講師：鈴木 武 さん

(兵庫県立人と自然の博物館研究員)

令和3年度、初めての事業、コロナ対策をして始めました。講師は、兵庫県立人と自然の博物館研究員の鈴木武さんです。関西地域で見られるタンポポの紹介から始まり、日本固有の在来種と、外国から入ってきた外来種の見分け方を教えてくださいました。また、リラックマにタンポポバージョンのぬいぐるみがあることや、アニメ映画「この世界の片隅で」の中で、シロバナタンポポとカンサイタンポポが扱われているなど、様々なお話をされました。

それから、雨の中、交流会館のウッドデッキから菓草原に自生するタンポポを観察しました。雨にぬれたタンポポはしぼんでいましたが、子どもたちと数本摘んで帰った所、室内で蛍光灯の光で徐々に開いていくのを観察できました。



雨の中のタンポポ観察 ↑



亀岡市では、川沿いやあぜ道にカンサイタンポポがよく見られ、都市部は外来種のセイヨウタンポポなどが侵入しています。また、両者の雑種も増えています。みなさまも身近なタンポポに興味を持って、調べてもらえたら嬉しいです。

子どもたちは、先生が飼育しているヘラクレスオオカブトを見せてもらい、とても嬉しそうでした。

亀岡生き物大学 特別講座
「初めての家庭菜園」



2月19日(金) 午前10時～正午 参加者：10名

講師：黒木 要 さん (島本微生物(株)技術指導課)

新型コロナウイルスの緊急事態宣言下ですので、コロナ対策を万全に少人数で開催致しました。講師は、島本微生物工業(株)黒木要さんです。農場で技術指導をされている黒木さんは、京都市の屋上農園の企画などもされているそうです。

参加者にクイズを交えてわかりやすく、環境に配慮した農業の取り組みや、美味しい野菜の見分け方、また、プラゴミ対策にも有効な5R運動についても教えてくださいました。

クイズの正解数に応じて、ミニトマトがプレゼントされるので、参加者は張り切って参加しました。お土産のトマトは「プチぷよ」という品種で、試食させてもらうと皮が薄くとても甘い、また今までにない食感でした。トマトの苦手な小さなお子さんも喜びそうです。

後半は、牛乳パックなどを使った子ども村オリジナルプランターを全員で作成しました。それから外で、黒木さんの指導のもとミニトマトの苗を植えつけました。参加者は、「大事に育てます。」「たくさん収穫できると良いな。」と大事そうに抱えて帰られました。



植えるときのコツを伝授 ↑

亀岡生き物大学 特別講座
「ビオトープで観察しよう！」



6月19日(土) 午前10時～正午 参加者：16名

講師：岩井 大輔 さん

ビオトープで観察しよう！は小雨の中行われました。講師の岩井さんは、日本生態系協会の研究員で生き物のスペシャリストです。まず教室で、ビオトープで見られるカエルや昆虫など様々な生き物について、映像を見ながら教えてくれました。また、ヘビやハチなど危険な生き物への対応は、身振りを交えて注意されました。

それから全員でビオトープへ、早速小学生が、羽化したばかりのトンボを発見しました。集まって見た後、「これから数時間かかるから、そっとしておこう！」と先生。

次に木の枝にぶら下がるモリアオガエルの卵を見上げて観察しました。「すごい！」「高いところにある！」「初めて見ました。」との声が上がりました。

子どもさん全員に網を渡し、思い思いに池の中をすくったの採集が始まりました。「あ、何かいる！？」すぐ先生を呼んで見てもらう子どもたち、「ゲンゴロウの仲間だね。」「オタマジャクシがいる！」「ヤゴや！」楽し気な声がビオトープに響きます。最後に、採集した生き物1つ1つの名前と特徴を先生が説明してくれました。忍者のように水の上を走るクモもいました。20種類を超える生き物が見つかり、モリアオガエルの卵も、採集して間近で観察しました。

採集した生き物はすべてビオトープに戻してから教室に帰りました。



何が入ってるかな？ ↑

遊びに来たよ！来村報告 (5月～7月)

青野小学校

5月14日(金) 1年生 7名 引率 2名

生活科「春みつけ」における自然散策のため子ども村に来村されました。野鳥の森などで春を探しました。



亀岡保育園



7月1日(木) 年中組 76名 引率 8名
沢遊びのため、来村されました。野鳥の森の小川で沢ガニを見つけたり、沢の上流に向かい冒険しました。

千代川幼稚園



7月13日(火) 4歳児 25名 5歳児 22名
引率 4名
ムラタの森の散策をしました。カブトムシやクワガタを探したり、いろいろな形のきのこも見つけました。

☆トピックス☆



サイエンスフレンズ天体観望会(7月17日(土) 参加者：約200名)に、子ども村の天文ドーム星楽館担当として協力しました。国際広場運動場には、亀岡天文同好会「諸星塾」のみな様とボランティアのみな様が自慢の望遠鏡を設置され、合計11台で参加者を出迎えました。

7時半のスタートと同時に、参加者のご家族がドーム前に並べられました。コロナ対策ということで、担当の先生が手の消毒をされ、1家族ずつ入場してもらいました。

星楽館の担当は「上弦の月」、レンズいっぱい拡大された月を、皆さまに覗いていただきました。「うわー、よく見える！」「穴ぼこがいっぱい！」中には、じーっとレンズを覗き込んだままの子もいて、「ずっと見ていたい。」と言っていました。人数が多く、短い時間で次の方と替わるので、最後には「2回目で一す。」と言って見に来た子もいました。お天気も良く、星も良く見え、午後9時半過ぎまで大盛況でした。



☆7月23日より東京オリンピックも無事始まり、メダルラッシュに沸いています。頑張る選手たちが感動を与えてくれます。無観客は寂しいですが、テレビ画面に向かって応援するこの頃です。

さて、子ども村の行事や催しについては、広報かめおかや、地球環境子ども村のホームページとフェイスブックをご参照ください。詳しくは、地球環境子ども村へお問い合わせください。来村の折には、マスクを忘れずに！(文責：植木)

地球環境子ども村

〒621-0242 亀岡市宮前町神前長野15
TEL: 0771-26-6100 Fax: 0771-26-5002
Email: kodomomura@city.kameoka.lg.jp